

木材利用システム研究会
第119回月例研究会

ウッドショック：激動する世界の木材市場にどう立ち向かうのか？
～統計データ分析と企業・行政の対応から今後を展望する～

ウッドショックによる木材産業への影響を概観すると、製材や集成材については、2021年の春から木材の不足と高騰が続いていましたが、年末頃から需給の逼迫状況が緩和し始めたことから、価格は横ばいから漸減の傾向にありましたが、直近では丸太、製品ともに価格下落傾向が顕著となっています。一方、合板については、ロシアのウクライナ侵攻の影響により、ロシアカラマツ等の単板の輸入が停止されたことから、合板用丸太、合板ともに高騰が見られるなど、製品ごとに異なる動向が見られます。

当研究会では、2021年の6月、12月、2022年7月に、ウッドショック等による木材産業への影響についての月例研究会を開催致しました。今回は、前回に引き続き、コロナ禍に端を発するウッドショックに加え、ロシアによるウクライナ侵攻等の木材産業を取り巻く環境と当面の課題認識について、当研究会常任幹事の安藤範親氏と多田忠義氏から情報提供させていただきます。また、ウッドショック以降の木材産業を取り巻く状況の変化と対応、今後の見通しなどについて、木材関連企業および林野庁から情報を提供いただき、今後の展望等について、皆さまと情報共有とディスカッションをさせて頂きたいと考えています。多くの皆さまの参加をお待ちしております。

日時：2022年12月8日（木）17:00～19:00

内容：①「木材産業を取り巻く環境と当面の課題認識」

安藤範親氏、多田忠義氏（農林中金総合研究所）

②企業からの情報提供

（協和木材、住友林業、積水ハウス、タマホーム等からの報告を予定）

③林野庁からの情報提供

④総合討論 モデレーター 幡 建樹氏（東京大学）

□会場：ZOOMを利用したWeb会議形式

□主催：木材利用システム研究会

□参加費：会員：無料、非会員：3,000円

□申込期限：2022年12月5日（月）

□申込方法：研究会HP（<https://www.woodforum.jp/>）よりお申込み下さい。

※ZOOMへの登録方法については、お申込みいただいた方に、

研究会前日の午前中にお知らせいたします。

木材利用システム研究会事務局：（幡、長坂、知念）
〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1、7号館B棟438室
東京大学環境材料設計学研究室内
電話：03-5841-7506 FAX：03-5841-0915
メール：info@woodforum.jp